

Authorized Non-Profit Organization
Ibaraki ACLS Association

各 位

全世界的に流行している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ですが、徐々に明らかになってきたことがあります。

1) 感染性は発症前（つまり無症状時）が最大

従来の呼吸器感染症は、「有症状＝感染性あり」でしたが、新型コロナウイルスはこれに相当せず、発症前の陽性者からの感染が約45%を占めるとされています。また、マスクの装着による自己防御に関しては明確な科学的根拠は見出されていませんが、他への感染拡大防止機能は効果がみられています。

(Clin Infect Dis. 2020 May 30; ciaa644. /JAMA. 2020 July 14; e2012897.)

2) 手洗いの効果

季節性インフルエンザに関しては手洗いとマスクの併用で、発生を1/3～1/2に減じる報告が、そしてSARSに関する7つの研究で感染リスクを低下させた報告があります。

2020年10月の時点でワクチンや特効薬を持たない私たちにとって、予防策を実践して新規陽性者の発生を抑えることが大変重要です。これから冬を迎えるにあたり、県民一人一人が新型コロナウイルス感染症対策を実践できれば、この難局を乗り切ることができると思っています。私たちは災害・緊急医療分野の認定NPO法人として、その一助になればという思いで、会員有志寄付をもとに感染症予防啓発クリアファイルを作成しました。

100年前、世界的に大流行したスペイン風邪では、約1万人の茨城県民が命を失いました。この悲劇を繰り返さないためにも、ファイル配布と「マスク・手洗い」感染予防啓発活動に何卒ご協力をお願いいたします。

認定NPO法人 茨城 ACLS 協会 理事長

(国立病院機構 水戸医療センター 救命救急センター長)

安田 貢



〒305-0821 茨城県つくば市春日3丁目4番地10 BA 春日 II-211

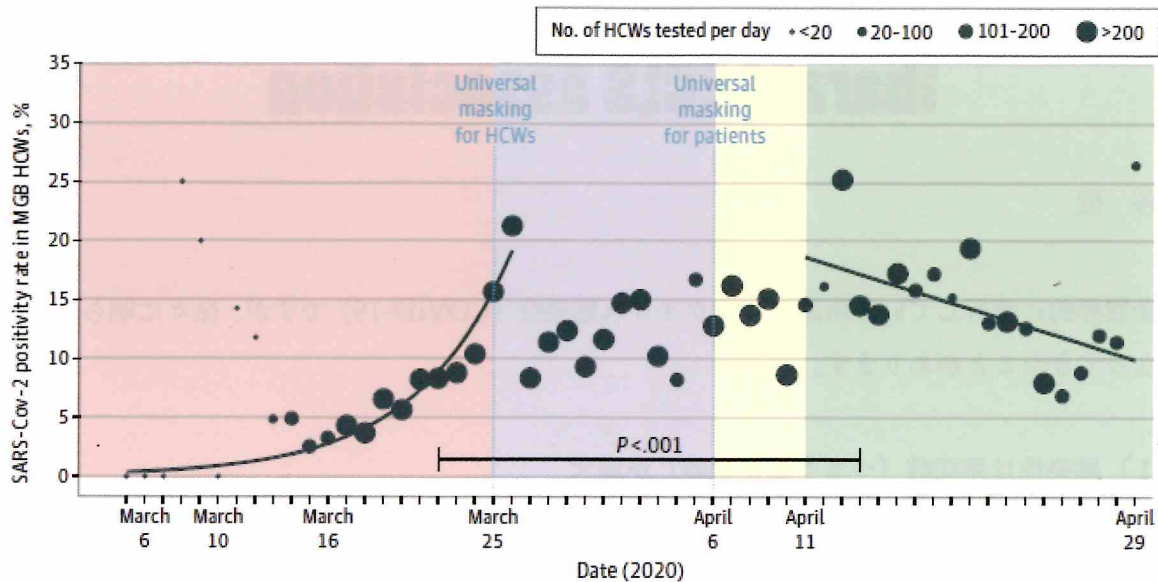
認定特定非営利活動法人 茨城 ACLS 協会

Tel :090-1128-4199 Fax :029-845-3750

<http://ibaraki-acls.info/>

e-mail:amx11142@mail2.accsnet.ne.jp

Wang Xら、JAMA. 2020 July 14; e2012897より



ユニバーサルマスクングの効果

米国マサチューセッツの12病院グループ

医療従事者9850人のうち1271人(12.9%)が陽性

介入前の新型コロナウイルス陽性率は、0から21.32%と指数関数的に増加した
加重平均は1日当たり1.16%増加、倍增時間は3.6日

医療人全員そして患者全員がマスク装着実施など介入期間中の陽性率は、
14.65%から11.46%に直線的に減少し、加重平均は1日当たり0.49%減少した。
介入前と比較して1日当たり大きく減少したという内容です。

Chan JFWら、Clin Infect Dis. 2020 May 30; ciaa644より

マスク効果を検証/ハムスターの実験

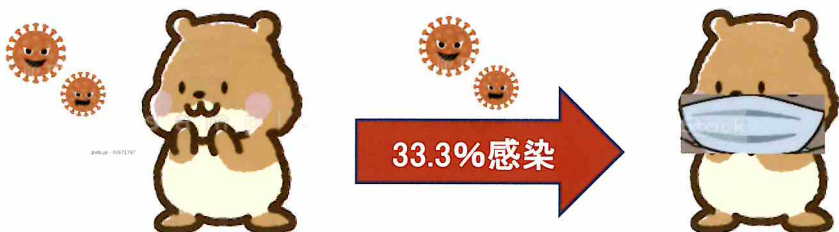
感染ハムスター

感染していない健常ハムスター



新型コロナに感染させたハムスターと感染していないハムスターを直接接触できない飛沫感染が成立する環境下におき、感染が成立するか検証

どちらもマスクをしていない場合、1週間以内に66.7%で感染がみられた



健常ハムスターにマスクあり感染させたハムスターにマスク無しの場合、健常ハムスターの33.3%に感染がみられた



感染ハムスターにマスクをした場合、健常ハムスターの16.7%に感染がみられた